

平成二十四年度 昼間部体育大会 あいさつ

幾分暑さも和らぎましたが、まだまだ厳しい残暑が続いています。

今日ここに、皆さんが待ち望んでいた佐世保中央高校昼間部体育大会の日を迎えることが出来ました。夏休みの終盤から昨日まで、厳しい暑さをもろともせず、全員が団結して練習に打ち込んできた成果を存分に発揮してください。

さて今ロンドンでは、オリンピックに引き続き、世界の障害者の方々のスポーツの祭典であるパラリンピックが開催されており、オリンピックと同じように、いやそれ以上に世界中の人々の目を引きつけています。それは、視覚や聴覚、腕や足など、身体の様々な障害に負けることなく、残された機能、可能性を最大限に発揮し、それぞれの競技種目に全力で挑戦している姿に感動と勇気ももらっているからなのです。

ここに集う皆さんの運動能力や体力は一人一人違います。走るのが得意な人もいればそうでない人もいます。しかし、この体育大会の意義は、出場する種目に全力で立ち向かうことであり、自分の可能性に挑戦することなのです。パラリンピックの感動には及ばないかもしれませんが、全力で競技に取り組む姿を披露することで、ご観覧いただく皆様にぜひ感動を与えてください。

また、この体育大会は学年縦割りの一組対二組の対抗で争われ、学級の団結力が求められます。一人ひとりが自分の役割を

自覚し、さらにお互いが励まし合い助け合いながら競技に参加することで、学級の絆がさらに深まっていくことを願っています。

ご来賓の皆様、保護者の皆様には早朝よりお出かけいただきまして誠にありがとうございます。生徒たちが競技にひたむきに取り組む姿に対しまして、どうか温かい励ましのお言葉や拍手をいただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、今日まで中心となって指導していただいた体育科の大串先生、釜元先生、濱田先生のお気持ちはひとつです。それは、今年度の体育大会テーマ「今、この情熱を！」の下に、皆さん一人ひとりが輝き、感動し、そして、今日の若さあふれる躍動の一日が高校生活最高の想い出となっていてほしい、ということなのです。

繰り返しになりますが、みなさんは暑い日が続く中に一生懸命練習に励んできました。どうかその成果を、その頑張りを出場する種目に全力で出し切ってください。

みなさんのフェアプレーと健闘を期待し、開会の挨拶とします。

